



# 頑張れ！緑中

2010年1月25日(月)  
平成21年度 第11号3学期①  
飯田市立緑ヶ丘中学校新聞係

## 3学期がスタート！

中学校も3学期がスタートしました。登校日数48日の短い学期ですが、1年のまとめの大切な学期となります。3年生にとっては進路実現のための第一歩を踏み出す時です。1・2年生にとっては緑中の伝統を背負う上級生への歩みを自覚する時です。



### 『 三学期の決意 』

1年生 男子

僕は三学期にがんばっていききたいことが二つあります。

一つ目は、二分前着席です。これは、二学期まで、僕自身がほとんどの時にできていたことです。だからこそ、僕は三学期も続けていこうと思います。なぜなら、二分前着席は、授業の準備ができるのと、緑中の伝統だと思うからです。

二つ目は、数学と英語の家庭学習をすることです。二学期の僕は宿題をあまり出していませんでした。そのため、授業ではわかっている、テストでは思うように点が取れませんでした。でも三学期には、提出ノートを毎日やって出し、テストで問題がわかるようにしたいです。

この二つをがんばることで、毎日の授業の中で積極的に発言をしたり、考えたりしていけるとと思います。きっと怠けてしまう自分があるので、三学期はがんばる自分を発揮したいと思います。それには、「どうして怠けてしまうのだろうか」ということを考えました。きっと理由はいくつかあると思いますが、僕が思うには、一日の学校の活動を終え、家に帰って机に向かう頃には体がもうへトへトになっていて、勉強せずに寝てしまうときがあるからです。だから三学期には、眠気予防として気分転換をしたり、顔を洗ったりして勉強を続けたいと思います。それと同時に、この決意を書いた今の自分の気持ちも持ち続けたいと思います。

### 『 二学期の反省と三学期への抱負 』

2年生 女子

私が三学期でがんばりたいことは三つあります。

まず一つ目は、発言をすることです。二学期は、答えを書いてもなかなか発言することができませんでした。けれど、最近少しずつ発言ができるようになり、発言をすると授業の内容もわかるようになってきているので、三学期は自信を持って自分の意見を多く発表していきたいと思います。

二つ目は、掃除についてです。二学期のはじめは、プロムナードの掃除をしていました。正直、掃除などどうでも良いと思っていました。掃除中は私語もしていました。けれど、今はトイレ掃除を二人でやっています。協力して二人でやることで、知らないうちに無言で黙々と取り組めて、毎日時間いっぱい掃除をすることができています。なので三学期は、掃除の良い状態を続けることと、トイレ掃除を一生懸命やっていることが、使っている人に伝わるような掃除をしたいと思いました。

三つ目は、毎日の提出物です。私は提出物を出していることは出しているのですが、面倒くさいと思ってしまうので、内容が同じだったり、簡単だったりしています。なので三学期は、三年生に向けて内容を充実させていきたいと思います。

以上三つのことを、三学期はやりとげていきたいです。

### 『 三学期大事にしたいこと 』

2年生 男子

僕は三学期に大事にしたいことが四つあります。

一つ目は、授業態度です。なぜかという、今まで授業態度が悪くて成績が上がることなく下がる一方だったので、受験に向けて授業態度をよくしたいです。

二つ目は、無言清掃です。僕は図書館前の廊下の掃除をやったときに、静かに掃除をやったら、いつもよりきれいにできて気持ちよかったです。だから三学期は、無言清掃を大事にしたいです。

三つ目は、英語です。僕は五教科の中で一番英語が好きでできるので、もっと英語の力を伸ばして将来につなげたいです。そのために、日々英語の勉強をがんばりたいです。

四つ目は、部活動です。僕が所属しているサッカー部は、新人戦県大会出場という目標を達成できました。県大会では、チームの雰囲気が良く、一丸となって戦うことができ、ベスト16の中に入れたといういい成績が出せて良かったです。だから、今度の夏の中体連は、県大会出場という目標を胸に、チーム一丸となって目指したいと思います。三学期も、日々部活をがんばります。

僕はこれらのことを実行したら、自分で自分の将来を決めていける自分になれると思います。だから、これらのことを実行し、自分の将来を自分自身で決めていけるようになりたいです。

## 『三学期の目標』

3年生 女子

私は三学期の目標が三つあります。

一つ目は、四点セットです。私は四点セットが出せていないので、当たり前のことですが、毎日四点セットが出せるように、家に帰ったらすぐ四点セットをやりたいです。

二つ目は、授業態度と生活態度を良くしたいです。私は授業中、姿勢が良くなかったり前を向いていなかったりするので、授業の内容がわからなくても周りの人としゃべったりしないで、しっかり授業を受けたいです。あと、生活態度も良くしたいので、廊下で先生とすれちがったら、しっかりあいさつをしたいです。

三つ目は、掃除です。あと少しで、この学校ともお別れなので、掃除を丁寧にやりたいです。そして、時間が余ったら、隅々まで掃除をしたいです。

この三つのことを三学期がんばりたいです。あとちょっとでクラスのみんなどもお別れなので、今以上にみんなと積極的にかかわり、仲良くなって、この三学期を楽しく大切に過ごしたいです。

## 1/7 『3学期始業式』校長先生のお話

### 『一粒の米』

明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、皆さんそれぞれに、夢や目標をもって今年のスタートを切ったことと思います。年頭にあたり『一粒の米』という話をいたします。

今から300年ほど前、江戸時代の中頃に、新井白石(1657～1725)という有名な学者がいました。六代将軍家宣、七代将軍家継の補佐役として、生類憐みの令を廃止したり質素儉約を進めたりするなど、幕府政治の改革に大きな力を発揮した人です。

そんな白石ですが、実は子どもの頃は朝から晩まで遊びに夢中で、あまり勉強をしませんでした。怠け心に勝てず学問をおろそかにする白石を見て、白石の父は息子に、米びつを持ってくるように言いました。そして、米びつに入ったお米の中から米を一粒取り、白石少年にどこを取ったか尋ねました。大きな米びつの中のわずか一粒ですから、白石にはわかりません。また、一粒取ります。でも白石にはわかりません。さらに米粒を一つ取ります。やはりどこを取ったのかわかりません。

そこで、白石の父はこう言いました。

「今はわからないが、毎日一粒でも、1年間続けて取っていれば、米が減ったこともわかるだろう」と。さらにこう続けました。「反対に、米びつに一粒の米を加えてもどが増えたかはわからない。けれど、毎日毎日一粒ずつ加えていけば、1年後には増えていることがわかる。」

そして、「勉強もこれと同じだ」と言いました。

「1日怠けたくらいでは、すぐに勉強ができなくなったり下手になったりするわけではない。しかし、毎日、毎日、ついつい怠けていると、ある日ふと、自分がだめになったことがわかるのだ。反対に、1日、勉強したくらいでは、すぐに勉強ができるようになるわけではない。毎日、毎日、少しずつ続けていると、1年後、2年後には、わかるように、できるようにと必ず変わってくるのだ」

父の話を聞いた白石少年は、心を入れ替えて、昼は漢字を3000字、夜は1000字書くのが日課とするなど、前にも増して学問に励むようになりました。

少しずつ少しずつのがんばりでいいのです。毎日、毎日の積み重ねが大事。たとえわずかの勉強であっても米一粒くらいは進歩しているはず。ところが、その進歩は米粒みたいに小さいから、つい馬鹿にしたり軽んじたりしてしまう。1日くらいサボってもいいやと。でも米一粒分でも1年、2年と経つうちに目に見えて増えてきます。勉強したのとしなかったのでは、格段の差が付いてくるのです。日々コツコツやることの大切さとは、そういうことなのですね。私も怠け者ですから、時々怠け心がわいてきます。そんな時はこの話を思い出して、1日にたった一粒だけでもいいからと努力しようと思います。

もう1つ怠け者の私が大事にしている話があります。

数年前に小学校6年生と鬼面山へ登山をした時、一緒に登った男の子から教えられたことです。その子は登山が大の苦手。皆と一緒に登ると遅くなってしまうので、私と二人で全体より30分早く登り始めました。急な登山道をゆっくりゆっくり登っていく途中で、彼はこう言いました。「先生、目的地の山頂は逃げていきませんよね。だから、僕がこうやって一步一步と足を前に進めるたびに山頂に近づいていく。一步一步踏み出せばその分だけ確実に山頂が近付いて来る。そう考えながら登ると苦しいのがんばれるような気がするんです」

私はそれを聞いて、確かにこの子の言うとおりでなあと思いました。たとえ小さな一歩であっても、それは必ず自分を、自分の目標に近づけてくれます。

今年も本年は寅年。一日一日の積み重ねを大事にしながら、狙った獲物を逃さないトラのように、心に誓った自分の目標をしっかりとトラえてください。

2010年がスタートしました。

本年も地域の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。